

2009年度役員紹介

前向きに新しい時代を切り拓くとき — 2009年度会長に就任して—

東京弁護士会会長 山岸 憲司

本年度会長に就任した山岸です。

副会長および監事の方々と力を合わせて一年間会務を担ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

今年度は、いよいよ裁判員裁判が始まります。

裁判員裁判をめぐる反対論もあり、被害者参加制度の開始などとも絡んで、さまざまな議論のあるところではあります。

しかし、「国民の司法参加」という理念と意義を常に考え、「裁判員裁判の実施をテコに刑事司法改革をやり遂げなければならない。」として現実の成果をあげてきたことを十分に認識し、捜査のあり方、身体拘束のあり方などについてのさらなる改善・改革の前進をめざし、適正な裁判の実現を図らなければなりません。

もちろん、刑事司法改革だけではなく、民事裁判の改革・改善の実践とさらなる改革についての議論も活発化しており、また、行政訴訟の改革についても、着実にその成果があらわれつつあります。国民の法意識が変わります。

国民の参加意識の醸成、主権者としての言動の広がりにより、この国の民主主義が本当に育ち、定着するように、また、「法の支配」とは何であるかを私たちが自らの言葉で語り、司法の機能と役割を飛躍的に大きくすることに貢献できるように、力を合わせて努力しようではありませんか。

現場の一線を担っておられる会員の皆様のさらなるご尽力に負うところが大きいのですが、法テラスにおいても公設事務所においても志の高い若手弁護士に刺激を受けるにつけ、また、ニーズの発掘と業務の拡大に努力し成果をあげている会員に出会うにつけ力強く感じております。

後ろ向きの批判をするのではなく、司法が国民にとって本当に頼りがいのあるものになるように、そして、親しみをもたれて弁護士業務が拡大するように、協力し合いながら新しい時代を切り拓いていこうではありませんか。

それぞれの職責に情熱を傾けている人たちの間で意見の相違や対立が発生する局面も出てきます。しかし、多摩支部問題などもそうですが、常に利用者の目線に立ち、市民の利益を最優先に考え、誠実に取り組むことが肝要であると思います。

法曹人口増のペースダウンを実現する中で、司法基盤の拡大、業務基盤の拡大、研修・紹介制度の充実を図らなければなりません。

委員会や嘱託の皆様、そして職員の方々と十分な意思疎通を図りながら会務運営をする努力をします。知恵と力を結集して、司法の発展と弁護士の活動領域の拡大を図るときであることを共通認識にいただき、前向きの議論と行動をご一緒させていただきたいと考えています。

よろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2009年度の役員に
誌上インタビューを行いました。
1年間よろしくお願ひいたします。

質
問

1. 一番関心のあることは何ですか？
2. 一番大切にしていることは何ですか？
3. 長所・短所、趣味は何ですか？
4. 弁護士になって感動したこと・つらかったことは？

「仁」「義」ある闘いを

会長 山岸 憲司 (25期)



1. 経済力や軍事力などの「ハード・パワー」の歪みや限界が生ずる中で、文化的価値観としての「ソフト・パワー」や、『法の支配』の浸透が、どのようにして良い社会を築いていくのか。弁護士がどこまで貢献できるか。
2. 「仁」（普遍的で根源的な愛）と「義」（誠実に正しい行いを守ること）。
3. 長所は、バランス感覚と気配りか。遠慮と気配りが裏目に出るときに短所を感じますが、今

年度は、遠慮なしに職務に精励します。

趣味は、なし。「サクスを吹けるおじいさんおばあさんになりたい」という妻の突然の一言で始めたテナーサクソも進歩せず。

4. 依頼者の人生の転機に関与し、心からの感謝の手紙をもらったときでしょうか。つらいのは、こちらの真意を理解されないまま非難されるときですかね。つらかったことは忘れるようにしています。

粘り強く

副会長 黒岩 哲彦 (33期)



1. 5月21日から始まる裁判員裁判と被疑者国選の拡大について、対応態勢などについて弁護士会として全力をあげること。
2. 何事にも誠意をもって取り組みたいと思います。
3. 長所：粘り強い、誠実。
短所：あわてんぼうのところがあります。

趣味：読書。体重を落とすために自転車に乗っています。

4. 東京大空襲訴訟弁護団の事務局長ですが、高齢の方が困難を乗り越えて提訴に踏み切ったことには感動しています。
つらかったことは、平凡ですが、結果が依頼者の期待に応えられなかったことです。

明日を夢見て

副会長 蒲野 宏之 (33期)



1. 弁護士人口の増大の中で、いかに会員の弁護士会への求心力を高め弁護士会の存在感を示していけるか、いかに会員に価値ある弁護士会として実感できるような会務にするか。
2. 仕事への情熱ある取り組みと家族や友人とのつきあい、そのためにも健康第一をモットーにしています。
3. 長所は物事を前向きに考え決して諦めないこと、短所は真面目過ぎて不器用なことです。

趣味はクラシック音楽の鑑賞と海外旅行、アフリカ大陸南端の喜望峰から見た海は忘れられません。

4. 破産管財人として破産会社の事業譲渡を試みたが、なかなか買手があられず中核の技術者が四散する前日に契約締結にこぎつけ、職場を確保した多くの従業員の皆さんから感謝されたこと。つらかったのは依頼人の期待に応えられず結果を出すことができなかつたときです。

今日の元気と明日への勇気

副会長 緒方 孝則 (34期)



1. 身近な司法を築く努力により市民の関心は高まり、弁護士の露出度も増えています。その中で、いかにして弁護士・弁護士会に対する信頼を獲得していくかということです。
2. 和と輪を作っていくこと。人の気持ちを理解し、人の心に灯をともし、和と輪を大切にしたいと思っています。
3. 明るく楽しくをモットーにして協調性に富むのは長所と思っていますが、時に流され怒るべ

きタイミングを逃すのが短所です。

趣味はゴルフです。ゴルフの後の1杯を楽しみにしています。

4. 解決を求めてくる多くの依頼者や出会った人に「今日の元気と明日への勇気」を与えることができたときです。その仕組み作りの中で努力が受け入れられないときはつらく感じますが、その責任は自らにあるのでしょう。

一步一步、制度の実現を

副会長 由岐 和広 (36期)



1. 家族のこと、仕事のこと、ゴルフが下手なこと…なんですかねえ。弁護士会の将来のあり方、法科大学院の今後について、関心があります。
2. 結果を恐れず、誠実に行うことです。業務はもちろん、それ以外も自分の中で誠実に行うということを大切にしています。
3. 長所は、明るくねばり強いところです。短所は雑なところです。
趣味はゴルフと囲碁です。あと、これは大き

な声ではいけないのですが…祭りが大好きです。

4. 弁護士になって感動したことは刑事弁護において、社会から非難されている被告人と意思の疎通ができ、被告人が私を心から信頼してくれたことです。

逆に社会は事件の実態を見ず、マスコミに非難されながら事件にとりかかったとき、他の依頼者や事務局に迷惑がかかるのではないかと悩んだことがありました。しかし、今となっては全て楽しい思い出です。

着実に、誠実に

副会長 宇多 正行 (38期)



1. 法曹人口増加の中での弁護士会及び弁護士(特に若い会員の) 将来。
2. 家庭と仕事。何事も楽しんでやるよう心掛けています。
3. 長所：人の話をじっくり聞いて、何とかならないかと常に考える。
短所：せっかち。一つのことを考え過ぎると他のことが見えなくなることがある。
趣味：ゴルフですが、上手くなったり、下手になったり、この1年は下手になる時期だと

思います。お酒は好きですが、メタボにならないよう努力しています。

4. 依頼者が抱えている問題は人生の岐路に立っている場面が多く、その中で光明が見出せないときは辛く感じますが、事件が解決して依頼者から「先生が神様に見えました。」と言われるなど過分に感謝されたりしたときは、この仕事をして良かった、当たり前のことをきちんとしてることが大切だと思いました。

日々これ新たに

副会長 矢吹 公敏 (39期)



1. 東京弁護士会が市民から信頼され、会員からも信頼され、そして世界から評価されるように努力することです。
2. 過去をくよくよせず、未来は天にまかせ、その一瞬一瞬を充実して過すことです。
3. 長所は、楽天的でいろいろなことに興味をもって集中することだと思います。短所は、あまりに興味あることが多すぎて消化不良となるこ

とです。長所と短所は表と裏ですね。趣味は、国際司法支援や他国の法曹との交流など、国際的な活動することです。

4. 弁護士となって感動したことは数々ありますが、依頼者から感謝されることが一番の感動ですね。つらいと思ったことはないように思います。どんな事件でもよい面と問題がありますから、よい面をみるように心がけています。

静かに健やかに

監事 山田 宣郷 (41期)



1. 原子力発電です。中越沖地震でも殆んど無疵で放射能漏れを起こさなかった柏崎原発の安全技術の凄さを世界に発信すべきと思います。
2. 人間としての温かさです。義理 (compliance) と人情 (humanity) の両立を心がけています。
3. 生真面目ですがアバウトな点です。そこが長所であり短所でもあります。
趣味は、田舎へ行って、ぼんやりすること、それと少しのお酒です。

4. 弁護士としての仕事上で、特に感動した記憶はありません。裁判に勝った時には、負けた相手のことが気になるし、負けたときは、依頼者と一緒に悔しい思いで控訴して逆転を狙います。つらいというより困るのは、弁護士になってからずっと、仕事に追われてお盆や正月休みでも気持ちが解放されないことです。また、病気は本当に辛いです。皆様も健康にはくれぐれもご留意下さいませ。

欲窮千里目 更上一層楼

(千里の目を窮めんと欲して 更に上る一層の楼)

監事 太田 雅幸 (49期)



1. 現在は、東弁監事としての職責を果たす最善の方法は何なのかが一番関心があります。二番目に、東弁監事の職責と自分の業務をどのように両立させるか…です。
2. 依頼者との信頼関係。依頼者から信頼を得るために研鑽を続けること。言うは易く行うは難し。
3. 長所は、辛抱強いこと、人に同情できること。短所は、プレッシャーやストレスに比較的

- 弱いこと、同情の余り、信じ込みやすいこと。趣味は、旅行とゴルフ (フェアウェイを渡る風が好きです…崖を上り下りする機会の方が多いのですが)。
4. 依頼者の希望を叶えることができたときや、叶えることができなくても言いたいことをすべて言い尽くしてもらえてよかったと感謝されたとき、弁護士になってよかったと思います。つらかったのは、仕事の仲間を病で失ったとき。

■2009年度 東弁常議員 (80人/50音順)

秋田 徹	石橋 克郎	押金 隆広	菊地 真治	島 由幸	高谷 覚	根本 雄一	水谷 渉	安田 伸一
坏 由美子	板垣幾久雄	貝塚 慶一	草場理津子	白井 徹	竹内英一郎	美谷島隆明	峰岸 泉	保中 香幸
荒井 哲朗	伊藤真樹子	掛川 亜季	國塚 道と	白鳥 玲子	竹澤 克己	藤田 正人	箕輪 正美	矢花 公平
飯野 紀夫	内海 雅秀	金山 伸宏	久保田 聡	鈴木 眞	田中みどり	藤田 康幸	宮迫 圭秀	山本 志都
池田 清貴	伯母 治之	金子 正志	小池 美和	関本 隆史	玉木 一成	本間 正浩	望月 孝文	横張 清威
池田浩一郎	大迫恵美子	金子 洋子	小林 徳昭	曾我 幸男	津村 政男	丸山 知子	元木 崇司	米山 健也
石川 直紀	大関 太郎	川 義郎	小林 昌弘	高尾 剛	中西 一裕	三神 光滋	森田 太三	若松 光晴
石田 千佳	太田 治夫	川口 昭彦	近藤 浩	高橋 俊彦	中村 知己	水庫 正裕	森本 哲也	渡瀬 耕
石灰 正幸	大西 敦	川村 理	笹川麻利恵	高橋雄一郎	中本源太郎	水澤 恒男	八代ひろよ	

■2009年度 日弁連代議員 (120人/50音順)

青島 克行	板垣幾久雄	押金 隆広	草場理津子	坂本 正幸	高橋雄一郎	並木 政一	箕輪 正美	山本 孝
秋田 徹	市川 尚	貝塚 慶一	國塚 道と	笹川麻利恵	高谷 覚	根本 雄一	宮迫 圭秀	由岐 和広
坏 由美子	伊藤 献	掛川 亜季	久保田 聡	塩澤 彰也	竹内英一郎	彦坂 浩一	武藤 元	横張 清威
浅岡 義之	伊藤真樹子	桂 和昭	黒岩 哲彦	重田 和寿	竹澤 克己	美谷島隆明	望月 孝文	吉原 隆平
荒井 哲朗	岩田 修	加藤 卓也	小関 勇二	島 由幸	田中 公悟	藤田 正人	元木 崇司	米山 健也
伊井 和彦	内海 雅秀	金山 伸宏	小林 哲也	下田 久	田中みどり	藤田 康幸	本澤 順子	若松 巖
生田 康介	伯母 治之	金子 正志	小林 徳昭	白井 徹	田畑広太郎	本間 正浩	森田 太三	若松 光晴
池田浩一郎	遠藤 憲一	金子 洋子	小林 政秀	白鳥 玲子	玉木 一成	松下賢一郎	森本 哲也	渡瀬 耕
井坂和香子	大迫恵美子	蒲野 宏之	小林 昌弘	鈴木 眞	津村 政男	丸山 知子	八代ひろよ	
石井 麦生	大関 太郎	神谷宗之介	古宮憲一郎	関本 隆史	中井 陽子	三神 光滋	安田 伸一	
石川 直紀	太田 治夫	川 義郎	小森 貴浩	曾我 幸男	中田 憲孝	水庫 正裕	保中 香幸	
石田 千佳	大西 敦	川口 昭彦	近藤 浩	高尾 剛	中西 一裕	水澤 恒男	矢花 公平	
石灰 正幸	大森 秀昭	川村 理	西浄 聖子	高橋 俊彦	中村 知己	水谷 渉	山田 正記	
石橋 克郎	岡田 卓巳	菊地 真治	齋藤 成倫	高橋美知代	中本源太郎	峰岸 泉	山本 志都	